

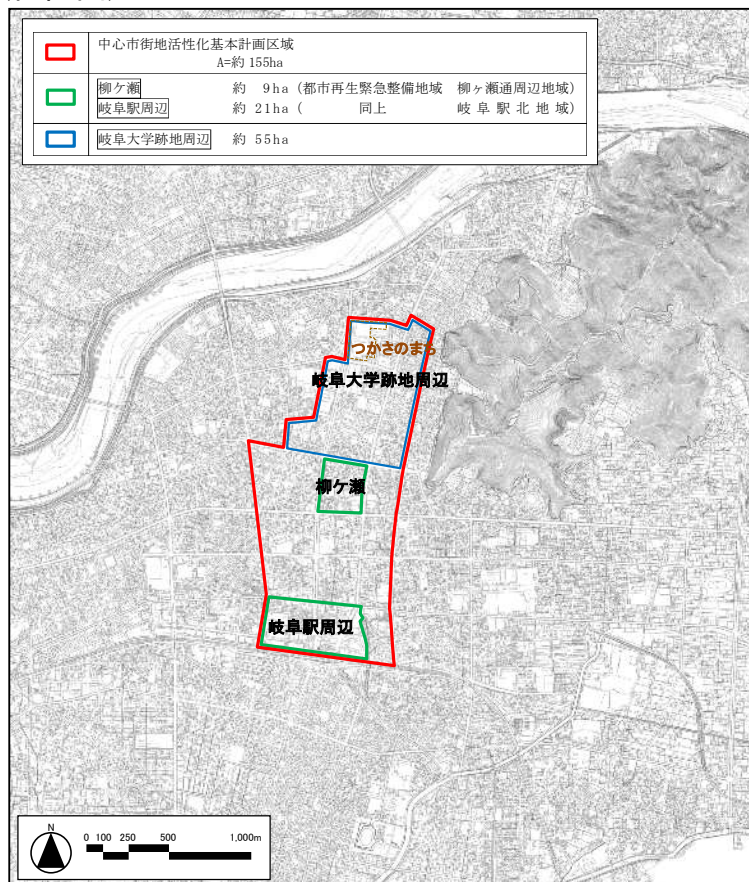
## 2. 中心市街地の位置及び区域

### [1] 位置

#### 位置設定の考え方

明治時代に東海道本線が開通し設けられた岐阜駅の周辺から、県庁が設けられた岐阜大学跡地周辺に広がる市街地、そしてその間に位置する柳ヶ瀬は、100年を越える近代的な都市づくりの歴史を持つ地域であるとともに、岐阜県の県都としての役割を担ってきた地域であることから、今回の基本計画においても中心市街地として位置づける。

#### (位置図)



### [2] 区域

#### 区域設定の考え方

(1) 区域の面積 約 155ha

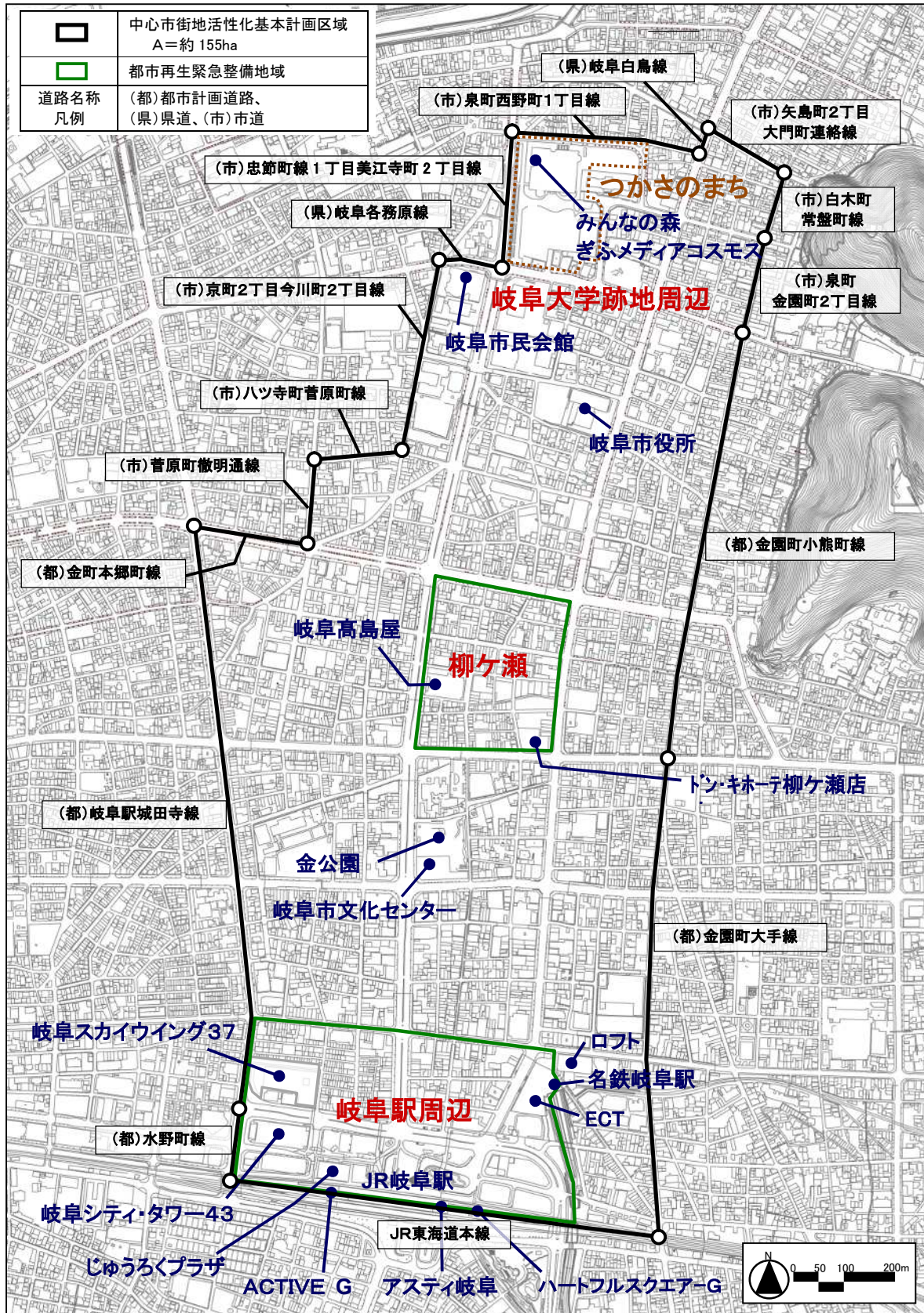
(2) 区域の範囲

中心市街地のエリアの価値を高めるため、商業系用途のエリアに絞り込んで集中的に取り組む。具体的には、都市再生緊急整備地域に指定されている「岐阜駅北地域」「柳ヶ瀬通周辺地域」と、新たな集客拠点を形成する「つかさのまち」を核とする区域を中心市街地と設定し、重点的に整備を進めることとする。

(3) 中心市街地の境界となる部分

区域図(次頁)に示す道路、鉄道の中心線。

(区域図)



**[3] 中心市街地要件に適合していることの説明**

要件	説明																												
<p><b>第1号要件</b>                      当該市街地に、相当数の小売商業者が集積し、及び都市機能が相当程度集積しており、その存在している市町村の中心としての役割を果たしている市街地であること</p>	<p>中活区域約 155ha は、面積としては市内宅地(工業用地除く)約 5,160ha(平成 28 年版岐阜市統計書)の約 3%であるが、以下の都市機能の集積があり、いずれも岐阜市内で最も高い集積度となっている。</p> <p>○ <b>小売業の集積</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜市の小売業のうち、中心市街地では、約 15%の店舗が集積し、約 10%の従業員が働き、約 10%の年間商品販売額を有している。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【小売業の状況】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">中心市街地 (A)</th> <th style="text-align: center;">岐阜市 (B)</th> <th style="text-align: center;">対市割合 (A/B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">事業所数</td> <td style="text-align: center;">430</td> <td style="text-align: center;">2,877</td> <td style="text-align: center;">14.9%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">従業者数</td> <td style="text-align: center;">1,973 人</td> <td style="text-align: center;">20,539 人</td> <td style="text-align: center;">9.6%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年間商品販売額</td> <td style="text-align: center;">418.1 億円</td> <td style="text-align: center;">4,161.4 億円</td> <td style="text-align: center;">10.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">資料：総務省「経済センサス(岐阜市再集計)」平成 26 年</p> <p>○ <b>事業所の集積</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜市の事業所のうち、中心市街地では約 15%の事業所が集積し、約 15%の従業員が働いている。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【事業所の状況】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">中心市街地 (A)</th> <th style="text-align: center;">岐阜市 (B)</th> <th style="text-align: center;">対市割合 (A/B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">事業所数</td> <td style="text-align: center;">3,261</td> <td style="text-align: center;">22,058</td> <td style="text-align: center;">14.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">従業者数</td> <td style="text-align: center;">28,253 人</td> <td style="text-align: center;">193,850 人</td> <td style="text-align: center;">14.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">資料：総務省「経済センサス」平成 26 年</p> <p>○ <b>都市機能の集積</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市機能の集積状況を見ると、岐阜駅周辺には、文化活動の拠点「岐阜市文化センター」、生涯学習の拠点「ハートフルスクエアG」、その他「岐阜市体育ルーム」や「岐阜市立中央図書館分館」が立地し、これら 4 つの施設で合わせて年間約 80 万人の利用者がある。岐阜大学跡地周辺には、市役所、裁判所、岐阜市民会館、ドリームシアター岐阜(青少年文化活動施設)等の公共公益施設が立地、平成 27 年には岐阜市立中央図書館、市民活動交流センター等で構成する「ぎふメディアコスモス」が開館している。</li> </ul>		中心市街地 (A)	岐阜市 (B)	対市割合 (A/B)	事業所数	430	2,877	14.9%	従業者数	1,973 人	20,539 人	9.6%	年間商品販売額	418.1 億円	4,161.4 億円	10.0%		中心市街地 (A)	岐阜市 (B)	対市割合 (A/B)	事業所数	3,261	22,058	14.8%	従業者数	28,253 人	193,850 人	14.6%
	中心市街地 (A)	岐阜市 (B)	対市割合 (A/B)																										
事業所数	430	2,877	14.9%																										
従業者数	1,973 人	20,539 人	9.6%																										
年間商品販売額	418.1 億円	4,161.4 億円	10.0%																										
	中心市街地 (A)	岐阜市 (B)	対市割合 (A/B)																										
事業所数	3,261	22,058	14.8%																										
従業者数	28,253 人	193,850 人	14.6%																										

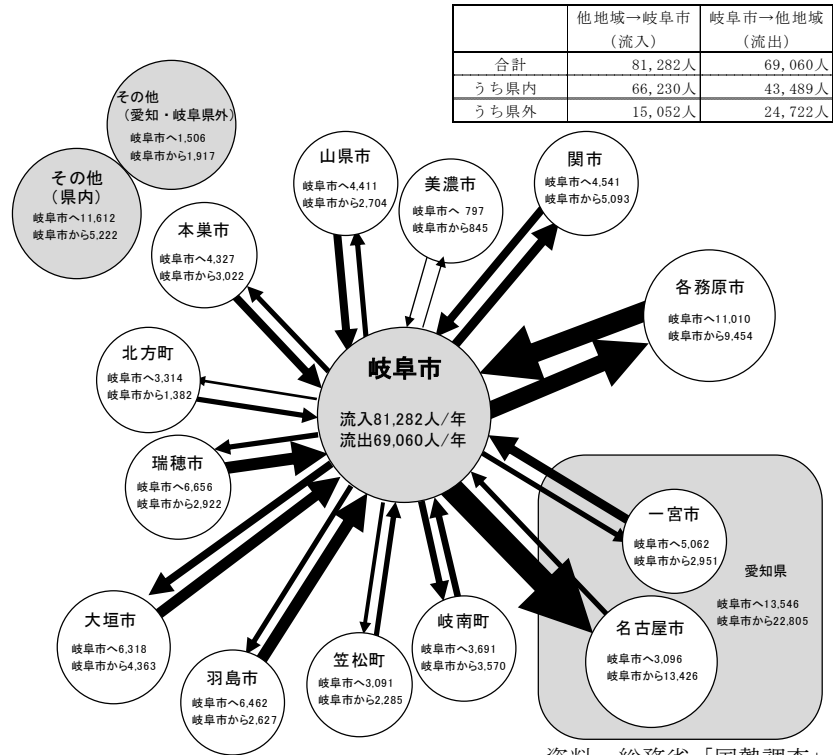
- ・このように、計画区域には、岐阜市唯一、あるいは岐阜市を代表する公共公益施設が集積し、都市機能においても岐阜市の中心としての役割を果たしている。

＜公共公益施設の立地状況はP 151 参照＞

### ○ 広い通勤圏を持つ都市

- ・国勢調査(平成 27 年)の従業者数・通学者数をみると、通勤・通学目的で市外から約 8.1 万人(岐阜市全体)が流入しているが、これらの多くは商業・業務機能が集積する中心市街地へ流入しているものと考えられる。
- ・岐阜市は、隣接市町だけでなく、岐阜広域、大垣広域、美濃広域といった広範囲な通勤通学圏をもつ。

【岐阜市と他地域の 15 歳以上就業・通学者数の流動】



### ○ 岐阜市への流入

- ・中心市街地における小売商業や都市機能の集積により、市内及び周辺地域の人々が中心市街地へ流入しているものと考えられる。

【昼間人口及び昼夜間人口比率の推移】

		(人/%)								
		S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	
新 岐 阜 市	常住人口(夜間人口)	420,201	422,149	420,463	418,527	415,040	413,261	413,136	406,735	
	昼間人口	443,715	448,578	449,759	449,861	443,372	433,077	428,926	420,442	
	うち市内在住	377,431	374,249	363,907	358,685	352,759	344,948	328,714	313,729	
	うち市外在住	66,186	73,931	85,577	90,551	88,659	84,776	81,528	82,110	
昼夜間人口比率		105.6	106.3	107.0	107.5	106.8	104.8	103.8	103.4	

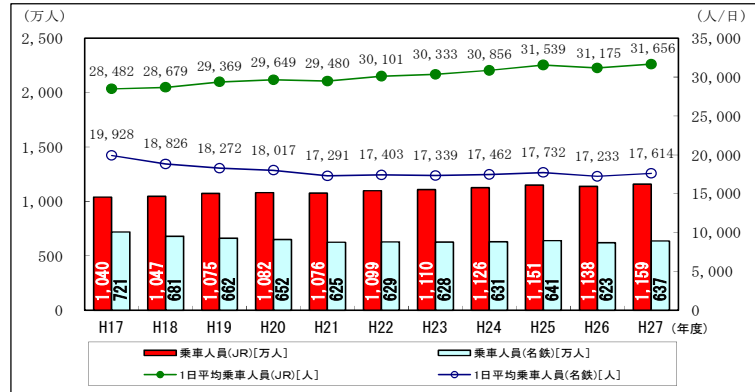
(注) 「うち市内在住」「うち市外在住」には、労働力状態「不詳」を除く

資料：総務省「国勢調査」

## ○ 交通の集積

- 交通手段の状況を見ると、岐阜市の玄関口である JR 岐阜駅、名鉄岐阜駅の乗車人員(平成 27 年度)は 2 駅合わせて 1 日あたり 5 万人弱が利用している。

### 【鉄道の乗車人員の推移】



資料：東海旅客鉄道株式会社、名古屋鉄道株式会社調べ

- 乗合バス路線の運行本数(平日往復、1日あたり)をみると、岐阜駅周辺の名鉄岐阜駅前では約 2,000 本運行され、柳ヶ瀬でも長良橋通り、金華橋通りを合わせて約 1,500 本が運行されている。

### 【バス路線図】



(資料：岐阜市内バスマップ)

以上に示したとおり、中心市街地は、相当数の小売商業、各種事業所、公共公益施設等が密度高く集積し、様々な都市活動が展開されている。また、岐阜市では中心市街地を中心として商圈や通勤圏が形成されており、市内宅地の約3%の区域に小売店舗の約15%、各種事業所の約15%が集積していることから、中心市街地は、岐阜市において経済的、社会的に中心的な役割を担っている地域である。

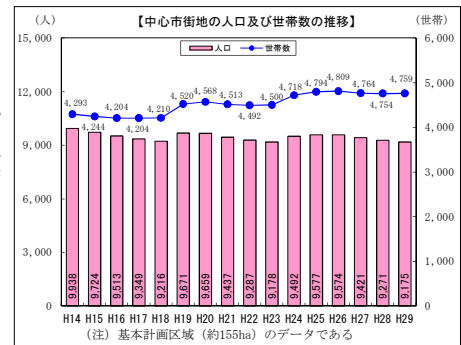
**第2号要件**

当該市街地の土地利用及び商業活動の状況等からみて、機能的な都市活動の確保又は経済活力の維持に支障を生じ、又は生ずるおそれがあると認められる市街地であること

中心市街地の様々な集積が低下することで、市全体の経済活力が低下している。

**○ 人口の停滞**

平成29年の中心市街地の人口及び世帯数は、1期計画開始後(平成19年)からみると減少傾向に歯止めがかかりつつあるものの、分譲マンションの供給がない年次では減少傾向となっている。



(注) 各年10月1日現在

資料：岐阜市「住民基本台帳」

**○ 中心市街地の事業所数、従業者数は減少し、集積が低下**

中心市街地の事業所数は減少し、市内シェアは平成26年と平成3年を比較すると約9ポイント減少している。

【事業所数】	S61	H3	H8	H11	H13	H16	H18	H21	H26
岐阜市全域(A、ー)	29,803	29,983	29,478	27,569	26,306	24,456	23,773	24,250	22,058
ピーク年次(H3=100)からの指数	99.4	100.0	98.3	91.9	87.7	81.6	79.3	-	-
中心市街地(B、ー)	6,928	7,008	6,090	5,325	4,872	4,356	4,038	3,806	3,261
ピーク年次(H3=100)からの指数	98.9	100.0	86.9	76.0	69.5	62.2	57.6	-	-
市内シェア(B/A、%)	23.2	23.4	20.7	19.3	18.5	17.8	17.0	15.7	14.8

資料：総務省「事業所・企業統計調査(岐阜市再集計) [~H18]」  
総務省「経済センサス(岐阜市再集計) [H21~]」

中心市街地の従業者数も減少し、市内シェアは平成26年と平成3年を比較すると約7ポイント減少している。

【従業者数】	S61	H3	H8	H11	H13	H16	H18	H21	H26
岐阜市全域(A、人)	191,031	206,979	215,762	200,096	195,879	187,105	190,641	205,721	193,850
ピーク年次(H8=100)からの指数	88.5	95.9	100.0	92.7	90.8	86.7	88.4	-	-
中心市街地(B、人)	41,130	43,587	41,389	34,736	31,516	29,561	29,491	31,615	28,253
ピーク年次(H3=100)からの指数	94.4	100.0	95.0	79.7	72.3	67.8	67.7	-	-
市内シェア(B/A、%)	21.5	21.1	19.2	17.4	16.1	15.8	15.5	15.4	14.6

資料：総務省「事業所・企業統計調査(岐阜市再集計) [~H18]」  
総務省「経済センサス(岐阜市再集計) [H21~]」

○ 小売業の事業所数・従業者数・年間販売額も減少し、集積が低下

- ・ 中心市街地の小売業事業所数は減少し、市内シェアは平成 26 年と平成 3 年を比較すると約 8 ポイント減少している。

【小売業事業所数】	S57	H3	H6	H9	H11	H14	H16	H19	H24	H26
岐阜市全域(A、ー)	6,859	6,584	6,028	5,808	5,658	5,172	4,535	4,249	3,019	2,877
ピーク年次(S57=100)からの指数	100.0	96.0	87.9	84.7	82.5	75.4	66.1	61.9	-	-
中心市街地(B、ー)	1,412	1,480	1,287	1,168	1,120	1,006	905	775	480	430
ピーク年次(H3=100)からの指数	95.4	100.0	87.0	78.9	75.7	68.0	61.1	52.4	-	-
市内シェア(B/A、%)	20.6	22.5	21.4	20.1	19.8	19.5	20.0	18.2	15.9	14.9

資料：経済産業省「商業統計調査(岐阜市再集計) [～H19]」  
総務省「経済センサス(岐阜市再集計) [H24～]」

- ・ 平成 26 年の小売業従業者数について、市内シェアは平成 26 年と平成 3 年を比較すると約 14 ポイント減少している。

【小売業従業者数】	S57	H3	H6	H9	H11	H14	H16	H19	H24	H26
岐阜市全域(A、人)	24,843	26,237	28,126	28,459	31,133	30,274	26,751	26,859	20,115	20,539
ピーク年次(H11=100)からの指数	79.8	84.3	90.3	91.4	100.0	97.2	85.9	86.3	-	-
中心市街地(B、人)	6,794	6,190	5,926	5,558	5,646	4,748	4,022	3,213	2,157	1,973
ピーク年次(S57=100)からの指数	100.0	91.1	87.2	81.8	83.1	69.9	59.2	47.3	-	-
市内シェア(B/A、%)	27.3	23.6	21.1	19.5	18.1	15.7	15.0	12.0	10.7	9.6

資料：経済産業省「商業統計調査(岐阜市再集計) [～H19]」  
総務省「経済センサス(岐阜市再集計) [H24～]」

- ・ 平成 26 年の小売業年間商品販売額について、市内シェアは平成 26 年と平成 3 年を比較すると約 16 ポイント減少している。

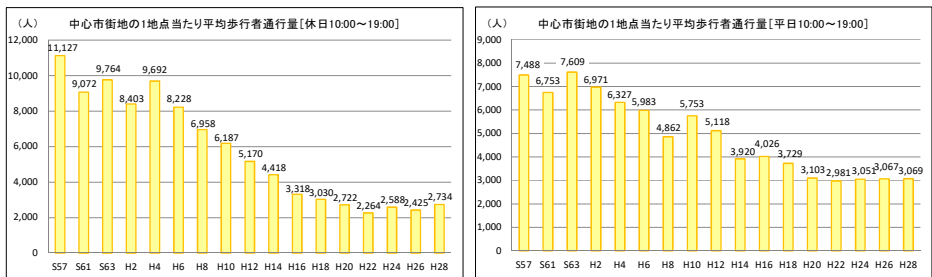
【小売業年間商品販売額】	S57	H3	H6	H9	H11	H14	H16	H19	H24	H26
岐阜市全域(A、百万円)	380,866	564,913	564,293	578,758	577,103	516,621	449,278	459,468	373,671	416,143
ピーク年次(H9=100)からの指数	65.8	97.6	97.5	100.0	99.7	89.3	77.6	79.4	-	-
中心市街地(B、百万円)	120,532	144,769	128,048	127,124	114,717	82,712	71,089	54,674	42,350	41,812
ピーク年次(H3=100)からの指数	94.8	100.0	88.4	87.8	79.2	57.1	49.1	37.8	-	-
市内シェア(B/A、%)	31.6	25.6	22.7	22.0	19.9	16.0	15.8	11.9	11.3	10.0

資料：経済産業省「商業統計調査(岐阜市再集計) [～H19]」  
総務省「経済センサス(岐阜市再集計) [H24～]」

○ 中心市街地の歩行者通行量の減少

- ・ 中心市街地の 1 地点あたり平均歩行者通行量の推移をみると、平日、休日とも平成 28 年は昭和 57 年と比べてかなり減少している。特に休日は、平成 28 年は昭和 57 年の約 1/4 の水準に達しており、休日の減少幅が大きい。

【中心市街地の地域別 1 地点あたり平均歩行者通行量】



(注) 歩行者通行量調査は 2 年に 1 回、毎回 7～8 月末に実施している。

資料：岐阜市「歩行者・自転車通行量調査」

### ○ 柳ヶ瀬の入り込み客数

- ・柳ヶ瀬外縁の大通りから内側へ進入した通行量を入り込み客数と捉えると、減少傾向が続いている。なお、平日、休日別にみると、平日の減少率が大きくなっている。

#### 【柳ヶ瀬の入り込み客数 [柳ヶ瀬の外縁(大通)から内側に入る通行量]

	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H18-H28
平日(1日)	16,986	15,816	13,446	13,242	11,988	11,202	△34%
休日(1日)	15,944	15,204	11,926	13,656	10,824	12,222	△23%
年間	6,077,976	5,700,624	4,728,430	4,881,768	4,239,432	4,210,110	△31%

(注)年間入り込み客数は平日(1日(10:00~19:00))と休日(1日(10:00~19:00))の通行量に各々の年間日数を乗じて合計したもの

資料：岐阜市「歩行者・自転車通行量調査」

### ○ 駐車場が増加

- ・中心市街地では、駐車場が箇所数、収容台数とも増加し、平成16年と平成28年を比較すると、箇所数で59%、収容台数で18%の増加となっている。しかし、柳ヶ瀬周辺の収容台数のみは微減となっている。

#### 【中心市街地(柳ヶ瀬周辺、岐阜駅周辺)の駐車場数及び収容台数]

	駐車場数(箇所)						収容台数(台)					
	H16	H20	H25	H26	H28	H16→H28 増減率	H16	H20	H25	H26	H28	H16→H28 増減率
柳ヶ瀬周辺	47	49	59	60	73	55%	2,478	2,383	2,235	2,217	2,164	-13%
岐阜駅周辺	47	47	61	67	76	62%	2,559	3,489	3,587	3,693	3,762	47%
計	94	96	120	127	149	59%	5,037	5,872	5,822	5,910	5,926	18%

(注)柳ヶ瀬周辺、岐阜駅周辺の対象区域は以下のとおり

柳ヶ瀬周辺：中活区域内で、(通称)金宝町通り以北かつ若宮町通り以南 [調査ブロックNo.30,31,32,37,38]

岐阜駅周辺：中活区域内で、JR東海道本線以北かつ(通称)金宝町通り以南 [調査ブロックNo.44,45,46,51,52,53,54]

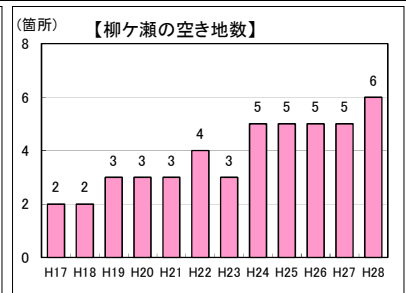
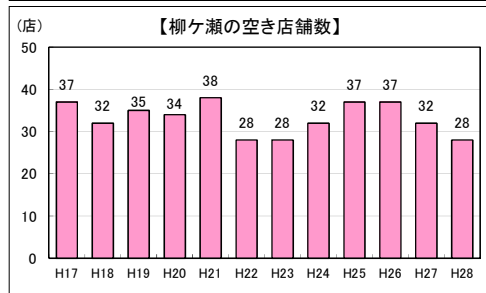
資料：岐阜市「岐阜市駐車場実態調査」

### ○ 相当数の空き店舗

- ・柳ヶ瀬の空き店舗数は、近年は減少傾向がみられる。ただし、これは新規出店したことで空き店舗が減少したものだけではなく、空き店舗が空きビル化(所有者が出店募集をしない物件、遊休不動産)したことで空き店舗の定義に当てはまらなくなったものもある。

#### 【柳ヶ瀬の空き店舗・空き地数の推移】

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
空き店舗(店)	37	32	35	34	38	28	28	32	37	37	32	28
空き地(箇所)	2	2	3	3	3	4	3	5	5	5	5	6
合計	39	34	38	37	41	32	31	37	42	42	37	34



(注)「柳ヶ瀬本通り」「長良橋通り」「徹明通り」「金華橋通り」に囲まれた地区の空き店舗数である ※各年2月調査

資料：岐阜市商工観光部調べ



【柳ヶ瀬の空きビル(遊休不動産)平成 28 年】



- 空きビル
- 空き区画のあるビル

資料：岐阜市にぎわいまち公社  
柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社 調べ

- ・岐阜駅周辺の間屋街は、物流の仕組みや、SPA(製造小売業)海外ブランドの進出など実態が変化の中で苦戦を強いられ、平成 28 年の営業店舗数が 169 店、空き店舗率は約 60% となっている。

【問屋街の空き店舗数の推移】

	平成10年	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年	平成28年
店舗数 (店)	1,021	744	755	474	446	440
営業店舗数 (店)	770	451	352	242	191	169
空き店舗数 (店)	251	293	403	232	255	271
空き店舗率 (%)	24.6	39.4	53.4	48.9	57.1	61.6

資料：岐阜市商工観光部調べ

- ・中心市街地における大型商業施設が閉店し、郊外における大規模小売店舗・ロードサイド店・大規模スーパー等の立地が進展した。

<大規模小売店舗の立地状況は P 153 参照>

○ 地価の下落

- ・中心市街地の地価公示 7 地点の平成 25 年と平成 29 年を比較すると、岐阜駅周辺(④吉野町)は上昇傾向であるが、それ以外の地点では依然として減少傾向である。特に柳ヶ瀬(①柳ヶ瀬通)は下落幅が△8.6%と突出している。

【中心市街地の商業地 7 地点の増減率】

番号	住所	用途	H25 (円/㎡)	H29 (円/㎡)	H25-H29 (%)
①	柳ヶ瀬通1丁目4番(柳ヶ瀬)	商業地	220,000	201,000	△ 8.6
②	高野町6丁目13番	商業地	117,000	114,000	△ 2.5
③	金園町1丁目14番外	商業地	144,000	136,000	△ 5.5
④	吉野町5丁目17番外(岐阜駅周辺)	商業地	534,000	587,000	9.9
⑤	今小町24番2外	商業地	172,000	163,000	△ 5.2
⑥	金町5丁目19番外	商業地	217,000	215,000	△ 0.9
⑦	若宮町8丁目11番外	商業地	123,000	118,000	△ 4.0

資料：国土交通省「地価公示」

以上に示したとおり、岐阜市の中心市街地は衰退傾向にあ

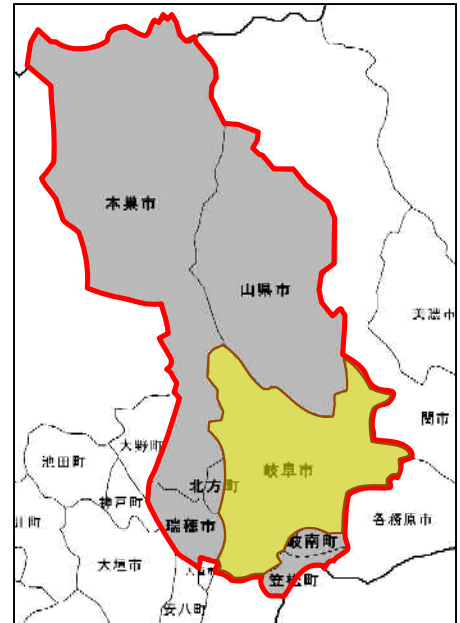
	<p>り、都市活動や経済活力の維持に支障が生じるおそれがある。これ以上衰退することに歯止めをかけ、再びにぎわいと活力のあるまちとするため、喫緊の対応が求められる。</p>
<p><b>第3号要件</b>      当該市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上と総合的かつ一体的に推進することが、当該市街地の存在する市町村及びその周辺の地域の発展にとって有効かつ適切であると認められること</p>	<p>○ <b>中心市街地の活性化は、上位計画等との整合性をもって進めることとしており、中心市街地の発展は、岐阜市全域の発展に有効かつ適切である。</b></p> <p>・ <b>ぎふ躍動プラン・21(岐阜市総合計画 2013-2017)</b>      [平成25年3月策定]      将来都市像を「多様な地域核のある都市」とし、その実現のため、都市の活力を高める多様な都市機能拠点(核)と市民の日常生活を支える地域生活拠点(核)が適切に配置され、活力あふれるコンパクトな市街地が互いに連携した都市の形成を目指している。この中で、中心市街地は圏域の中核機能拠点に位置づけられている。</p> <p>・ <b>岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略</b>      [平成27年12月策定・平成29年4月改定]      戦略の基本理念を「未来世代が、ひと・まち・自然の豊かな岐阜市を実感できるよう、将来にわたり、持続発展できる岐阜市の礎を構築する」としている。中心市街地の活性化については、「2期岐阜市中心市街地活性化基本計画の着実な推進を基本としながら、都心の魅力を高め、まちのにぎわいを創出し、居住人口の増加を図るとともに、人が集い、にぎわいの拠点ともなる再開発事業を推進するほか、駅前から柳ヶ瀬、みんなの森 ぎふメディアコスモスまでの中心部を一体的に捉えて、それぞれの特徴を生かした施策により、人々の流れと回遊性をつくり、岐阜市全体の活力の核としていく。」としている。</p> <p>・ <b>岐阜市立地適正化計画</b> [平成29年3月策定]      将来都市像を「高度で多様な都市機能が集積した中心市街地と、身近な生活拠点が適切に配置された日常生活圏とが、公共交通など総合的な交通体系により効率的に連絡しあう、多様な地域核のある集約型都市」としている。      また、中心市街地を含む都市拠点区域の基本方針を「都市の顔となる拠点として、業務機能の誘導や便利で快適なまちなか居住の推進など土地の高度利用を図ることで、魅力ある市街地の形成を促進します。集約型市街地の形成に向けて、</p>

都市構造に大きな影響を与える商業施設等の立地促進や公共  
 公益施設の立地促進を図ります。」としている。

○ 中心市街地活性化基本計画の対象区域は、岐阜経済圏の中心

- ・既存のインフラストックを  
 活用し、中心市街地の活性  
 化により、岐阜市全体及び  
 周辺市町にその波及効果を  
 及ぼし、地域全体の活力向  
 上につなげることができる。

【岐阜連携都市圏】



- ・人口約 41 万人の岐阜市は、  
 岐阜県(人口約 203 万人)の  
 県都であり、県人口の約  
 20%を占める。また、岐阜  
 市と近隣 3 市 3 町(山県市、  
 瑞穂市、本巣市、岐南町、  
 笠松町、北方町)は、平成

30 年 3 月、国の連携中枢都市圏構想推進要綱に基づき「岐  
 阜連携都市圏」を形成し、人口減少・少子高齢社会において  
 も一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するため  
 の拠点の形成に取り組んでいる。岐阜市は岐阜連携都市圏人  
 口(約 59 万人)の約 70%を占め県及び圏域の中心としての役  
 割を果たすことが期待されている。

【岐阜連携都市圏の人口及び世帯数】

市町名	人 口					世 帯 数						
	平成17年 (人)	平成22年 (人)	平成27年 (人)	増減率 (%)	岐阜県に 対する 割合 (%)	岐阜広域 に対する 割合 (%)	平成17年 (世帯)	平成22年 (世帯)	平成27年 (世帯)	増減率 (%)	岐阜県に 対する 割合 (%)	岐阜広域 に対する 割合 (%)
岐阜県	2,107,226	2,080,773	2,031,903	△ 2.3	-	-	713,452	737,151	753,212	2.2	-	-
岐阜連携都市圏	591,314	594,770	587,739	△ 1.2	28.9	-	214,416	225,711	232,330	2.9	30.8	-
岐阜市	413,367	413,136	406,735	△ 1.5	20.0	69.2	153,998	161,718	165,443	2.3	22.0	71.2
山県市	30,316	29,629	27,114	△ 8.5	1.3	4.6	9,470	9,731	9,640	△ 0.9	1.3	4.1
瑞穂市	50,009	51,950	54,354	4.6	2.7	9.2	18,226	19,376	21,011	8.4	2.8	9.0
本巣市	34,603	35,047	33,995	△ 3.0	1.7	5.8	10,561	11,150	11,346	1.8	1.5	4.9
岐南町	22,776	23,804	24,622	3.4	1.2	4.2	8,247	8,971	9,560	6.6	1.3	4.1
笠松町	22,696	22,809	22,750	△ 0.3	1.1	3.9	7,540	7,840	8,191	4.5	1.1	3.5
北方町	17,547	18,395	18,169	△ 1.2	0.9	3.1	6,374	6,925	7,139	3.1	0.9	3.1

資料：総務省「国勢調査」

- ・昭和 46 年 3 月、広域的な区域を対象とした都市計画を進め  
 るため、県都岐阜市を中心とする 1 市 8 町(当時)からなる区  
 域を「岐阜都市計画区域」とし、広域的な観点から都市の健  
 全な発展と秩序ある整備を目指してきた。岐阜市が岐阜都市  
 圏において、より中枢性・中核性を高め、これまで蓄積した

都市としての構造的ストックや、自然環境・歴史的資源の豊かさを活かした「岐阜らしさ」を創出する必要がある。

- ・岐阜市の中心市街地は、岐阜市及び周辺地域(以下、「岐阜広域」という。)で利用する高質な都市機能が集積し、また居住者の就業の場としても機能していることから、岐阜広域の経済・文化・社会活動に欠かせない地域となっている。したがって、岐阜市の中心市街地を活性化することは、岐阜広域の居住者にさらなる高質な都市機能を提供し、また就業機会の増進にもつながることから、岐阜広域の経済・文化・社会活動の発展に寄与し、波及効果は岐阜広域に及ぶことになる。

- ・岐阜市の中心市街地は、道路、公園、交通機関をはじめ、市役所、ぎふメディアコスモス、岐阜市民会館、岐阜市文化センター等の多種多様な既存インフラストックが集積している。これらのストックを適切に維持管理し、最大限に活用すれば、インフラ整備にかかる新たな投資の抑制、インフラストックの維持コストの低減につなげることができる。これにより生み出された財源は、真に必要な新たな都市基盤整備に重点配分することができ、岐阜市全域の都市基盤の向上につなげることができる。したがって、岐阜市の中心市街地の既存インフラストックを適切に維持、活用することは、岐阜市全域への波及効果がある。